

群馬の自然の「いま」を伝える

群馬県野生生物調査・対策報告会 2011

要旨集

平成 24 (2012) 年 2 月 12 日 (日)

開催

群馬の自然の「いま」を伝える

## 群馬県野生生物調査・対策報告会

### 趣旨

群馬県には、かけがえのない生き物たちを育む自然を調べ、伝え、守る活動をされている専門機関が数多くあります。

地域と密着して活動続けるこれらの機関の方々が互いに出会い、ネットワークを形成していくなかで、その取り組みをより広く、一般の方々にもお伝えしたいとの思いから、報告会を開催することとなりました。

今年も、「群馬の自然の「いま」を伝えよう」をスローガンに、この報告会では、県内の野生生物たちが置かれている状況や、さまざまな取り組みを紹介するとともに、群馬の自然の「いま」を参加者全員で共有し、その未来を考えていきたいと思えます。

主催 群馬県（自然環境課、自然史博物館）

### 後援

群馬県自然環境調査研究会、NPO 群馬県自然保護連盟、群馬野外生物学会、公益財団法人 日本自然保護協会、NPO ぐんま緑のインタープリター協会、群馬県野生きのこ同好会、財団法人 尾瀬保護財団、利根沼田自然を愛する会、日本野鳥の会群馬、ヤリタナゴ調査会、かんな川水辺の楽校運営協議会、赤城姫を愛する集まり、NPO 法人 日本チョウ類保全協会

(順不同)

### これまでの開催

第1回：平成21年3月 1日

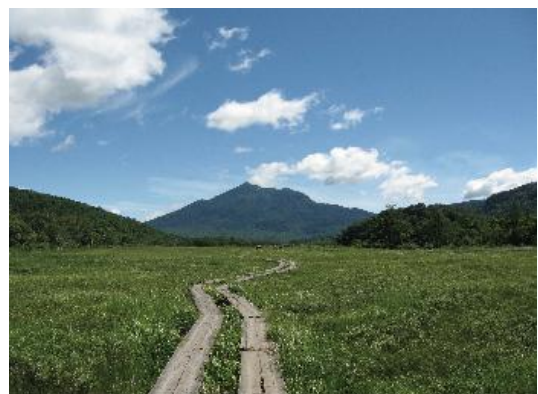
第2回：平成22年2月21日

第3回：平成23年3月21日

東日本大震災（3.11）により中止。要旨集を自然史博物館HPで公開しました。

第4回：平成24年2月12日

群馬県野生生物調査・対策報告会として、新たなスタートを切りました。



## 目次

### ミニ講座

群馬にサルがあらわれ始めたころ

一人里にあらわれ始めたころの生態・今の生態から読み解くサル対策・・・・・・・・・・ 1

### 報告

1. 県内河川におけるコクチバスの生息状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
2. ツキノワグマによる人工林剥皮被害の発生状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
3. 群馬県レッドデータブック改訂について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
4. シカに喰われる植物たち・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
5. 群馬県の昆虫類に関する現状～群馬にはたくさんの昆虫がいる！～・・・・・・ 11
6. ヤリタナゴ保護の10年・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
7. 生き物がいて人がいる～自然系施設のとりくみ～・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
8. 群馬県のチョウの現状と保全・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
9. 尾瀬国立公園のツキノワグマ保護管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
10. 尾瀬国立公園・至仏山の保全と対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

### 紙面報告

効率的な捕獲方法について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

### 資料

狩猟・有害捕獲の状況について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料編

有害鳥獣捕獲状況

狩猟による鳥獣捕獲状況

狩猟者の状況

平成22年度有害・狩猟捕獲状況

群馬県鳥獣保護員報告による野生動物出没状況